

令和3年度 事業計画

1. 基本方針

我が国の令和3年度の国家予算が106兆円を超え過去最大となり、さらに新型コロナウイルス対策関連予算も今後上乘せされることとなるでしょう。

昨年は新型コロナに始まり新型コロナで終わった年でした。残念ながら当初計画していた各種事業が感染防止のため中止または縮小を余儀なくされ、また新会員加入の減少とともに現会員の退会が続き、まさに苦しい1年でありました。

本年度の労働行政においては、高齢者の労働力さらに女性の労働力に期待を込めて「生涯現役社会」を目指し、65歳までの雇用確保から70歳までの高齢者の雇用確保を目指すことになりました。

あらゆる企業・団体は今年4月1日から、雇用されている従業員が70歳までの就労を希望したときは、雇用の場を提供する努力をしなければならなくなり、いずれかは義務化されていくこととなるでしょう。

シルバー人材センターの命題であります新会員拡大に、一段とブレーキがかかることが予想され、それを打開するための対応がいま私たちに求められてきております。

現在の70歳代前半の年代層は高度成長期の団塊の世代であり、今までいわれてきた高齢者とは様相を異にしております。今年度はその年代層に照準を当て、就労する職域・環境に対するシルバー人材センターのイメージの変革を図り、新たな就労の分野を開拓するため、多様な働き方に対する具体的地元企業対応を行っていかねばなりません。また、当センターの70歳以上の会員の割合は79%を占め、毎年更新をしております。従来の就労職種に対しての見直しについて、今後検討を進めていかなければならない時期にきております。

昨年6月に全シ協総会において、「安全就業優良賞」を受賞いたしました。これはひとえに会員皆様の日頃の努力の賜物であり、心から感謝申し上げます。本年度も安全と会員皆様の健康を第一義にする1年にしていこうではありませんか。

以下、次の実施計画を推進いたします。

2. 実施計画

(1) 事業の普及啓発

- ① 新聞折込み広告を利用した「シルバー情報」を各戸に配布し、新会員の入会促進と就業拡大に繋がります。
- ② 会報「シルバー旭川」を発行し、会員や各関係機関、団体に配布し、組織及び事業活動についての情報提供に努めます。

- ③ ポスター等を作成し、公的施設等に配布するとともに、のぼり旗を作成、会員拡大と普及啓発に努めます。
- ④ 市民広報誌「あさひばし」への掲載依頼やホームページの充実を図り更なる情報の公開に努めます。
- ⑤ 報道機関への情報提供を通してシルバー事業の普及啓発に努めます。
- ⑥ 会員拡大に向け、状況に応じた入会・就業説明会を実施します。

(2) 会員組織の確立

- ① 「60歳から華咲く人生を」を合言葉に会員が一丸となり会員拡大に取り組みます。
- ② 会員の「知人・友人」の紹介等口コミによる新会員の入会を促進します。
- ③ 地区ごとのボランティア活動を通して組織の活性化を図り、会員相互の連帯感を培い、事務局との意思疎通を図ります。
- ④ 「かたくりの会(女性の会)」新体制により、初心に帰り女性会員の意見交換会を催します。
- ⑤ 就業状況を把握し、未就業会員への声掛けを常に意識するよう努めます。
- ⑥ 会員への希望職種の変更を促し、未就業会員に対し未経験職種を対象とした研修を実施、就労機会の確保と就業率向上に取り組みます。

(3) 就業機会の拡充

- ① 「自ら開拓、自ら就業」を合言葉に、役員・会員・職員による創意工夫を通して、普及啓発と就業機会の拡大に努めます。
- ② 就業報告書の見直しを図り、請負契約の完成時に発注者・会員・センターの内容確認を実施します。
- ③ 派遣事業においては「同一労働、同一賃金」による契約を更に推し進め、会員の希望職種の聞き取りと就業開拓に努めます。
- ④ 親切・丁寧・誠実・確実をはじめ接客マナーに心がけ、「キャリアアップ講習会」を開催するなど、お客さまの期待に応えるサービスを提供します。
- ⑤ 独自事業の充実を図り、宣伝活動に努めます。
- ⑥ 賛助会員をはじめ企業の訪問を行い、シルバー事業のPRと就業拡大に努めます。

(4) 安全就業の推進

- ① 「安全はすべてに優先する」「健康第一」を合言葉に、安全就業に努めます。
- ② 安全委員会の機能を高め、「事故措置審議会」を通して各種事故の分析や点検を行い、事故の危険予知と撲滅に努力します。
- ③ 草刈、剪定就業をする全会員にヘルメットの配布を行い、安全就業に努めます。

- ④ 研修会・講習会を通して、会員の安全意識の高揚を図ります。
- ⑤ 安全推進委員と共に安全講習や安全パトロールを実施し、事故防止に努めます。

(5) 財政の基盤強化

- ① 事務局内の情報の共有や交換、職員相互の連携強化に努め、研修等を通じて事務局員の資質向上を図ります。
- ② 事務局組織の見直し等により活性化を図り、公益性と収益性のバランスのとれた運営を行います。
- ③ シルバー事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す状況にあることから、尚一層の事業運営への努力と事務的経費の節減を図ります。
- ④ 令和5年度から導入する「インボイス制度」に向けて、段階的に会員への周知に努めます。
- ⑤ 受注の管理を徹底し、早期回収と未収金の防止に努めます。
- ⑥ 関係機関に対し、就業の提供、財政的支援の要請・確保に努めます。